

新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応について（お願い）

新型コロナウイルスについて、2月24日付で厚生労働省から面会制限の実施等の事務連絡があり、全国の医療機関及び介護施設では、厳戒態勢が敷かれています。すでに、名古屋市のデイサービスセンターでは集団感染による死亡者が出るなど、**高齢であれば比較的健康的であっても感染し、重症化する可能性が高い**ことがわかっています（中国での患者55,924人のデータからは80歳以上の致死率は21.9%にも上る）。

また、3月27日には飯田保健所管内で新型コロナウイルスの感染者が発生したことから、飯田下伊那地域にとっても対岸の火事では済まなくなっています。幸いなことに、**赤石寮では利用者及び職員に体調を崩す者はおらず、マスクや消毒液なども数に限りはありますが、何とか平穏に毎日を過ごしております。**

基礎疾患のある高齢者はこのウイルスに非常に弱いため、**面会は禁止**とさせていただきます。ただし、終末期等の利用者家族に限り、体温を計測し発熱等の症状がない場合は短時間の面会をすることは可能ですが、出来る限り少人数でお願いします。

現時点において、新型コロナウイルスの終息は見通しが立たず、厚生労働省から面会制限の解除等の事務連絡があるまで現在の態勢は継続せざるを得ません。また例年5月、6月に実施している家族会も秋以降に延期します。いつまで続くか分からない自粛ムードですが、健康と生命こそが最も優先されるべきものであるということを念頭に、各自が適切な行動をとるように心がけてください。

感染症の勉強会に飯田保健所長（松岡裕之医師）をお招きしました

2月19日（世の中が新型コロナウイルス一色になる前！）、飯田保健所長の松岡裕之医師をお招きして、感染症の勉強会を開催しました。まだ、新型コロナウイルスが県内で騒がれる前でしたので、忙しい松岡先生に間隙を縫って新野までお越しいただきました。

松岡先生は、公衆衛生医として途上国でマラリアなどの研究や自治医科大学教授として医動物学の研究・教育に従事されてきましたが、現在は保健所長として、飯田下伊那の公衆衛生に身を捧げられています。

当日は、結核菌から最新の新型コロナウイルスのお話まで、わかりやすくご教授いただき、基本的な知識を学ぶことで不安を払拭できたと思います。

